

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 小原 得雄 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷(株)



新年に寄せて

西部青年中央会 会長 小原得雄

新年明けましておめでとうございます。1998年が明けました。厳しい経済不況で明けた新年は、かつて感じたことのない陰鬱で暗く、見えないところで何か密かに進行しているような得体の知れない不安を感じるような幕開けとなりました。

昨年は、年明け早々のロシアタンカーの重油流出事故に始まり、オレンジ共済事件、動燃施設の爆発事故、ペルー日本大使館武力突入、野村証券をはじめとする四大証券の利益供与事件、神戸小学生殺人事件、北海道拓銀、山一証券等金融機関の経営破綻等々世の中を大きく揺るがす暗い事件が次々と起った年でした。特に日本の金融システム破綻が我々に与えた衝撃は、計りしれません。2001年を目処に東京市場をロンドン、ニューヨーク並にとスタートした金融システム改革が、まるでフライングしたかのように始まったようで、まさにこれがピクパンの幕開けなのかと驚くと同時に、21世紀に向けて日本型経済システムが大きく転換していくことを実感しました。

本年も、我々中小企業にとっては昨年以上に厳しい年となることが充分予測されますが、決して「茹でガエル」にならないようにぬるま湯から脱し、「自己責任—Responsibility」で、今まで以上に巻き巻く環境に敏感に反応し、先見性にさらに磨きをかけ、洞察力を養うよう、自らが進んで意識改革に努めなければならないと感じています。

早いもので今年度の中央会活動も折り返し地点となりました。今年度のテーマのうち、例会「出席率の向上」については、皆様方のご協力により予想以上の好成績となっていますが、「有望な新入会員の発掘」については苦戦を強いられています。引き続き会員一丸となって取り組んでいかなければなりません。委員会活動については、計画どおり進行している委員会、思うように成果が上がらない委員会と色々あるでしょうが、6月終了時満足感の残る活動となりますように期待しています。最後に、1998年が会員の皆様方にとりまして実り多き年となりますようにお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

県会長 秋田導秀

新年明けましておめでとうございます。今世紀も残り少なくなり、昨年は世紀の変わり目の到来を実感させるような事件が相次ぎました。銀行、生保、証券会社の破綻、大手建設会社の倒産など数年前までは予想さえもできなかった出来事に、我

国全体が世紀末にあるかのごとき様相を呈しています。

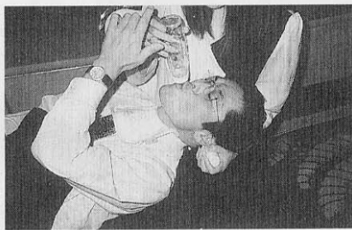
こうした厳しい環境の中で新しい年を迎えたわけですが、私は中小企業を担う会員の皆様に改めてお願いしたいと思う事があります。それは、青年中央会の会員相互間でもっと企業の利益を追求して頂きたいという事です。例会や委員会に出席したり、行事に参加したりするのは当然のこととしてもそれだけでは当会に入会したメリットは乏しいでしょう。当会には同業種、異業種を合わせ130人の現役会員がいるのです。各々の企業がどのような技術、ノウハウ、販路を持っているか、どのような戦略を考えているのか、どういう人達が将来自分の仕事のパートナーとして適しているか、常にそうした視点を持って、当会の活動を行って欲しいのです。バブル経済が崩壊して以来ベンチャー企業の育成だとか、異業種交流のネットワーク作りの重要さだとかをやたらと耳に致しますが、まず当会そのものがそうした目的で成り立っていることを今一度認識してもらいたいと思う次第です。特に入会后1～2年位の会員には、ただイベントに動員されることばかりで何のために入会したのか時々疑問に思う時があるだろうけれど、そんな時には名簿を開いてみて下さい。会長であれ、役員であれ、頼みたいと思うことがあれば臆することなく声を掛けて欲しいのです。私は県会長としてこの1年間のスローガンに「交流」という言葉を選びましたが、日本の経済システムが揺らぐ中で、当会の活動理念の原点を再認識し、会員の皆様が実り多き中央会活動に専念されますよう心より願ってやみません。

去る、12月15日(月)「ホテルわこう」に於いて現役会員、OB会員、来賓、合わせて130余人の参加のもと、恒例の忘年例会が盛大に開催されました。まず最初に小原会長から平成9年の一年間の回顧があり、来年はより厳しい一年になるであろうという挨拶があり、来賓の挨拶、OB紹介と続き、乾杯の合図で大宴会のスタートとなりました。しばらくは、和やかな雰囲気で行っていた宴会は、500円ジャンケンポンゲームの開始で全員目の色の変わる展開へと進んでいきました。優勝したのは新入会員の加藤会員で、賞金の半分を余芸同好会に寄付していただきました。その後、突然アカベラの貝殻節と共に余芸委員会の面々による踊り踊りの嵐で、場内は大いに盛り上がり「西部青年中央

12月 忘年例会 報告



会は君を待っている」の横断幕の登場で、ステージはオークションへと移っていきました。



オークション、ゲームの景品を提供頂いた会員ならびに会社の方々 ご協力ありがとうございました。

米子市公会堂に 熱気あふれる

西部青年中央会は君を待っている



から節ニューバージョンの踊りを立見がでるほど超満員の観衆の前で披露させていただきました。

踊る前から舞い上がったような状態ではなかったかと思えます。たくさんの中央会現役・OB会員、そして家族、会社の人達が応援に来て下さっていたようですが、見る余裕も、愛想をふる余裕もなく、演技終了、あっという間の6分間でした。遅ればせながらではありますが、ご声援いただきありがとうございました。

12月5日(金)
19:30我々余芸同好会(正式には特別技能開発委員会)踊り連15名は米子市公会堂のステージにおいて貝

演技終了後、打ち上げ会場へ全員集まり、もう一度踊り直し。リハーサル中から緊張をほぐす為、飲んでた酒がやっとまわりだしたのか、動きも、表情もこれまでで最高の踊りができたのではないかと思います。まさに人間味あふれる人達なんだと実感しました。

当日にいたるまで、毎日曜日の夜3時間程度の練習と、自宅でのテープを見ながらの練習を積み重ねてまいりました。中央会の代表として参加するからには、最高のものを披露できるよう全員努力を重ねて出演してきました事を皆様に報告いたします。

踊り子、唄い手の皆さんご苦勞様でした。そして、ご支援ご声援いただいた皆様、ありがとうございました。僕たち15人は普通の中央会会員へもどります。(総合プロデューサー)



12月度委員会報告

政治行政委員会

平成9年12月7日(日) 於：ベルライトよなご 出席者/8名
 内容/クリスマスパーティーと題して会員の奥様やお子様にも参加して頂きました。会長をはじめ、足立担当副会長にも出席して頂き、通常とはちがったまさに家族的雰囲気の中、中央会活動のビデオ放映、ゲームやカラオケなどわずかな時間ながら有意義な委員会が行われた。

社会プロブレム委員会

平成9年12月8日(月) 於：海鮮ろばた海王 出席者/14名
 内容/平成9年の忘年委員会を開催した。始めに土井副会長より、上半期反省、感想、そして下半期もメンバー全員力をあわせて頑張る様激励を頂いた。続いて安部委員長より、前半の活動への感謝、後半へのより一層の協力の要請があった。

その後、海王の鍋を囲んで委員会談義に花が咲いた。副会長より、今や米子の名酒といっても過言ではない「海王」の差し入れがあり、会場は最高潮に達した。

全員盛り上がったまま二次会後藤副委員長行きつけの某お店に場所を移した。そして楽しい夜はまだまだ続くのであった。

地域ビジョン委員会

平成9年12月8日(月) 於：米子食品会館 出席者/5名
 内容/1. 役員会報告

2. 後期の活動についての検討

- ①シミュレーションの作成案
- ②調査の実施案(過去にない種類の)

※年明けに最終の決定を行なう。

経営委員会

平成9年12月10日(水) 於：海潮園 出席者/12名
 内容/1. 忘年会

2. 忘年会の前に役員会報告、前期委員会の反省等

情報メディア委員会

平成9年12月8日(月) 於：米子食品会館 出席者/12名
 内容/広報委員会との合同委員会による12月開催の忘年例会の打ち合わせ
 各担当・タイムスケジュールの確認等

金融委員会

平成9年12月8日(月) 於：米子食品会館 出席者/14名
 内容/1月担当例会に向けて、企画内容の検討、委員会メンバー各自の役割分担などを話し合いました。最近の日本経済の核心を突く内容で例会を開催する予定ですので、より多くの会員の皆様にご参加を頂きたいと思いました。

広報委員会

平成9年12月8日(月) 於：米子食品会館 出席者/10名
 内容/12月忘年例会(情報メディアと合同)打ち合わせ

総務委員会

平成9年12月10日(水) 於：皆生なぎさ園 出席者/15名
 内容/冒頭、山本副会長のコンパニオンは役員につけるようにと云う挨拶のあと、楠幹事を中心に忘年委員会が開催された。

美人のコンパニオン(?)が入場のあと谷口(達)コンパニオンの登場あり、野球拳ありと大いに盛り上がり、気づいた時にはO会員が、一糸まとわぬ姿になっていたのが印象的であった。最後にはお土産まで頂き、この時期家庭で肩身の狭い思いをしている会員には家庭円満の一助となった。(ひょっとしてわたしだけ?)楠幹事をはじめ4人の幹事の方々、大変ご苦勞様でした。尚、1月の委員会は1月13日(火)に開催されます。(開催場所未定)

21地球委員会

平成9年12月9日(火) 於：美保の荘 出席者/13名
 内容/12月度忘年委員会

この夜ばかりは日頃の委員会活動の勞をねぎらい、おおいに会員(+α?)相互の友愛を深めた。

●例会・委員会(7月~12月)出席状況(%)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均8~12月	順位
21地球	返信率		71.4	92.9	64.3	78.6	64.3	74.3	⑧
	例会	57.1	78.6	57.1	71.4	50	50	61.4	⑦
	委員会	92.8	64.3	78.5	78.5	85.7	92.8	79.9 ⁸²	④
経営	返信率		86.7	86.7	93.3	100	100	93.3	④
	例会	80	66.7	60	66.7	86.7	66.7	56	⑧
	委員会	66.6	73.3	86.6	66.6	73.3	80	75.9 ⁷⁴	⑦
地域ビジョン	返信率		71.4	78.6	78.6	71.4	64.3	72.8	⑨
	例会	57.1	57.1	50	78.6	50	42.9	55.7	⑨
	委員会	78.5	57.1	50	57.1	64.2	35.7	52.8 ⁵⁷	⑨
情報メディア	返信率		84.6	92.3	69.2	100	92.3	87.6	⑦
	例会	50	61.5	61.5	84.6	76.9	76.9	72.2	⑥
	委員会		84.6	84.6	76.9	76.9	92.3	67.6 ⁸²	⑧
社会プロブレム	返信率		100	92.9	92.9	100	92.9	95.7	②
	例会	78.6	85.7	78.6	57.1	85.7	78.6	77.1	④
	委員会		92.8	85.7	85.7	71.4	100	87.2 ⁸⁷	①
金融	返信率		80	86.7	80	100	93.3	88	⑥
	例会	66.7	73.3	66.7	73.3	73.3	86.7	74.6	⑤
	委員会		86.6	80	66.6	73.3	100	81.3	③
政治行政	返信率		85.7	92.9	92.9	78.6	92.9	88.6	⑤
	例会	85.7	78.6	71.4	92.9	71.4	85.7	80 ^{79.68}	②
	委員会	92.8	78.5	78.5	92.8	78.5	57	77.6 ^{77.0}	⑤
広報	返信率		91.7	100	91.7	84.6	100	93.6	③
	例会	83.3	75	63.6	83.3	76.9	92.3	78.2	③
	委員会	91.6	66.6	72.7	83.3	84.6	76.9	76.8 ^{79.28}	⑥
総務	返信率		93.3	93.3	100	100	100	97.3	①
	例会	92.3	86.7	80	80	93.3	73.3	82.6	①
	委員会	100	93.3	86.6	66.6	80	100	85.3 ^{87.25}	②

お父さんの通信簿

◎この度は、雲黒斎と陳國歳の両名が山本良文副会長の自宅を訪問し、ご馳走をよばれ、好きなビールをたらふく飲ませて頂き、逆取材にも必死で応戦しながら、楽しい取材をさせて頂きました。

雲：ご主人と知り合われたきっかけは？

妻：10年前に知人の紹介で知り合ったのです。

質問：えっ、スイートテンダイヤモンドですか。

主人：こら、いらん事言うな。(と、叱られる。)

陳：なにが一緒になる決め手だったんですか。

妻：主人は、周囲に心配りができて、感謝する事を忘れない人なので、尊敬しています。

陳：あれ、この絵はご主人の趣味ですか。

(居間に飾ってある西洋美少女画を指さす)

妻：そうなんです。なんでも、初恋の彼女にとともにいるとかで大層大事にしています。私が毎日額縁を拭いているんですよ。

(こんなでできた奥さんをもって、美少女画に走るなんて許せない。と、思っても言い出さない。)

雲：風の噂に、自主トレを欠かさないように聞いていますが、今も続けておられますか。

妻：関心に続けていますよ。大好きなゴルフのためですもの。

主人：頭を使う趣味と身体を使う趣味を一つずつもおかないよね。と、含蓄のある顔で説得される。

陳：ところで奥さんは何かお仕事されているんですか。

主人：学童の心と身体のケアをしながら心理学を勉強してまし

夕食万歳編

山本 良文・影子ご夫妻



てね。私もよく心理テストしてもらいますが、おもしろいですよ。

雲：男の心理って、自分は大海原のつもりでいても、実は金魚鉢の中を一所懸命泳いでいる事がありますよね。(しまった、俺だけの事かもしれない・・・)

陳：でも、お二人ともよくお話しされますよね。夫婦ってやっぱりお互いを写す鏡の様な物ですよ。

妻：主人と居ると、「私が普通に見える。」と友達が言ってくれるんです。

帰りのタクシーの中で、できた奥さんだなどお互いの心の内を読むように会話が始まり、あの料理どうやって作るんだろうとか等々話しは尽きぬまま帰宅した。

最後になりましたが、年末のお忙しい中ご無理を申し上げましたが、快く引き受けて頂き本当に有り難うございました。

聞いてごしない Part 11

「約束」

新年早々「忘年会」の話で恐縮ですが、これを書いているのは「忘年会」の真っ最中なのです。

昨日も今日も明日も忘年会、こうも続くと「今日は飲みたくない」とつぶやきたくなる。それを聞いた子供が「じゃあ、飲まずに帰ってきたら、二次会も行かなければいいのに。」と素朴な疑問を発する。確かに言われる通りである。「よし、今日は早く帰って来るぞ」と思わず約束をして出かけて行く。

年を忘れると書いて「忘年」、つまりその年の苦労を忘れて飲むのが忘年会である。しかし、いつも最初の挨拶は、「大型倒産が…」、「金融不安が…」、「不況の嵐が…」、「来年も厳しい年が…」と親切にも忘れたいことを思い出させておいて乾杯となるのである。これじゃ忘れるために飲まなきゃならないと酒を酌み交わしはじめる。やっと忘れかけた頃にお開きとなる。

このまま帰ればいいだろうが、ちょっとだけならいいだろうと思ひ二次会へ流れて行く。酒を飲み大騒ぎをしていくうちに、ふと気が付くと時間が…。

翌日、「おはよう」という言葉に子供の冷たい視線が返ってくる。父親の威厳が崩れて行くのを感じながら、痛い頭を抱えて仕事に行くこととなる。

これではいけないと思いつつ、なぜかこの時期毎年同じ過ちを繰り返してしまうのである。

「子供達よ、お父さんは仕事で飲んでるんだよ、決して好きで飲んでるんじゃないよ」と言いつつ、新年会を待ち望んでいる父親である。 [きのこ]

1月例会案内

と き 1月16日(金) 18:30~
 ところ ホテルわこう
 講 師 住友生命総合研究所主席研究員
 市来治海(いちきはるみ)先生
 演 題 「これからの日本経済と金融のゆくえ」
 担 当 金融委員会

1月役員会報告

1月定例役員会が平成10年1月7日(水)、米子食品会館に於いて開催された。

当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 1、2月例会開催の件
- (2) 厄落としの会開催の件
- (3) その他

※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

連絡事項

社屋移転の案内

オートガラス株式会社(大畑憲会員)
 本社・米子営業所：平成10年1月5日より下記の通り変更になります。

- 新住所／米子市両三柳309番地
- 電話番号／(代表) TEL (0859) 29-5001
 FAX (0859) 29-5030

編集後記

会員OB諸兄の皆様おめでとうございます。
 今年はトラ年。「とらぬタヌキのなんとやら」にならぬよう、商売は用意周到、二重三重の備えで望みたいものです。(ベン)